

市民及び学校向け電子図書館開設 電子書籍の英語リーディング機能を活用した学校支援

岐阜県 関市立図書館

基本データ

所在地	岐阜県関市若草通2丁目1番地
職員数	28人
うち司書数	19人
蔵書数	436,132冊
利用登録者数	58,243人
年間貸出冊数	564,408冊
(児童用図書貸出数 222,090冊)	

テーマ・活動のねらい等

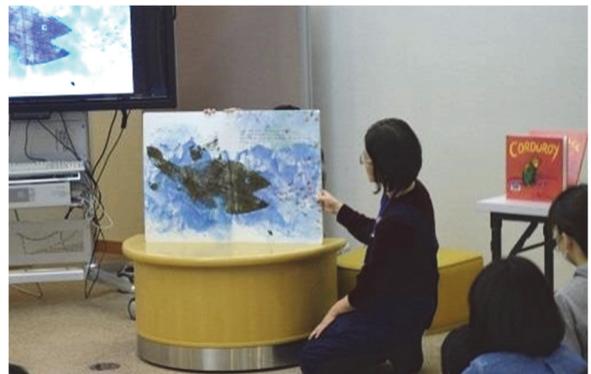
【テーマ】最新技術の導入、情報機器等の活用

【活動のねらい】

- 小中学校に英語リーディング機能付き電子書籍の活用の事例を示したり、効果を広めたりすることにより、児童生徒がより英語に親しめる環境を構築する。

取組・活動の概要

- 平成30年2月に関市立電子図書館を開設した。電子書籍の中には、英文をネイティブな発音で読み上げるリーディング機能付きの英語絵本がある。電子図書館を開設した理由の中に「子どものころから英語に親しめる環境づくり」があるため、学校での活用を考えた。
- 英語絵本を学校で活用する場合、貸出期間14日間であること、本が1冊しかないことから、本の確保が難しい。そこで令和元年7月に、学校だけが利用できる学校電子図書館を開設し、英語学習に役立つ英語絵本を複数購入し、確保しやすくした。
- 関市では、市内小中学校の全教室に電子黒板が設置されている。活用にあたっては、日本語の大型絵本の読み聞かせと、電子黒板でリーディング機能付き英語絵本を1ページずつ交互に聞くことにより、英語の内容を理解しやすくする活動を様々な場で紹介した。
- 教育委員会学校教育課の協力を得て、小学校英語の研修会やビブリオトークのアトラクション、図書館主任者会で実演した。



学校で英語絵本（電子図書）を活用

取組・活動の工夫や特徴

- 活用の仕方を実際のモニター画面と大型絵本で実演し、より具体的に先生方に理解していただくようにした。
- 英語学習に英語絵本が効果的であることを説明するために、文部科学省の「Hi, friends!2 指導編」や「中央教育審議会企画部会 論点整理」などの資料を活用した。
- 各学校の取組を取材し、よい点を価値付けるとともに画像や動画に記録した。

取組・活動の成果や今後の展望

- STEAM 教育推進校 2 校が朝読書で先生方が読み聞かせを行った。またこの 2 校には、一人 1 台タブレットの環境が令和元年度中に整うことから、読書の時間に英語絵本で英語を学ぶ児童も現れると考える。
- 市内小学校と高等学校それぞれ 1 校から、児童生徒向けに電子図書館の活用の読み聞かせの依頼があり、出前講座を実施した。

